

阿字の子が阿字の古里立ち出でて

また立ち帰る阿字の古里

弘法大師作

高野山参拝旅行

残暑厳しい八月半ば、檀信徒の皆様方におかれましては、如何お過ごしでしょうか。今年は早い時期から気温が上がり、大変厳しい夏でありますので、どうかお身体を大事にお過ごし下さい。

さて、今年度は新型コロナが第五類へと感染レベルが引き下げられたことで、行動制限が緩和され、人の動きもコロナ禍以前へと戻りつつあります。当山でも、七月に「高野山参拝旅行」を、四年ぶりに行わせていただきました。つきましては、今月号の平福寺だよりは高野山特別特集として、参拝の様子を皆様にお届けしたいと思えます。

一日目

当山では毎年七月、海の日三连休の土日を使い、真言宗総本山であります、和歌山県高野山への参拝旅行を行っております。本年は三十三名にて行ってきました。バスでの道中では、休憩を挟みつつゆっくりお過ごしいただき、高野山には昼過ぎ頃に到着致します。その後、宿泊でもお世話になります。当山住職が修行もされた、山内宿坊の恵光院様にて昼食をいただきました。(右下写真)

昼食が済みましたら、「受戒」を受けていただきます。「受戒」とは真つ暗な部屋で、阿闍梨様より十善戒を授けていただく儀式であり、高野山ならではの非日常を味



↑ 昼食の様子 (精進料理)

わえるものとなっております。儀式が終わりましたら、皆様に一つずつ参加した証である『菩薩戒牒』が授けられます。

『受戒』のあとは少し歩きまして、真言宗総本山金剛峯寺へお参り致しました。本山専門のガイドのもと、文化的にも貴重であるお寺の中をゆっくりと参拝いただきました。(左写真)



↑ 金剛峯寺拝観

一日目最後は高野山の中心である壇上伽藍へお参りです。高野山のシンボルである根本大塔をはじめ、諸堂を拝観していただき、密教というものを肌で感じていただきました。(左写真)



↑ 根本大塔

宿坊に戻りましたら広間にて食事となります。豪華な精進料理の元、高野山の夜を楽しんでいただきました。(左写真)



↑ 広間での食事の様子

二日目

二日目は七時からの朝勤行にて当山檀信徒の先祖供養を皆様と共に勤め、朝食後恵光院様を出発して、いよいよお大師様をおわします奥の院へとお参りです。一日目同様、本山専門のガイドの解説を聞きながら、奥の院中の橋より約一キロの道のりを歩いてお参りです。(左写真)



↑ 御廟橋から望む灯笼堂

たくさんの方の企業や戦国武将の供養墓、そして樹齢数百年の杉並木が立ち並び参道を抜けます。完全な聖域である灯笼堂、そして御廟橋が見えてきます。この先は

脱帽のうえ、写真撮影禁止となっておりますので、是非ご自身の足でお大師様の元へお参りいただきたいと存じます。

奥の院のお参りを終え、お大師様に見送られながら高野山は下山となります。

二日目の午後は、毎年違った観光地へ向かいますが、本年はお大師様の御母堂、玉依御前様が晩年を過ごされた、『女人高野』慈尊院へとお参りしていただきました。その後昼食をいただき、近くの市場やサービスエリアでお土産等見て帰路へとつきました。

本年は四年ぶりということもあり、至らぬ点多々あったかと存じますが、こうしてまた皆様と共に高野山への参拝が出来たことを嬉しく思います。また、当山の参拝旅行は檀家に限らず一緒に参加できますので、来年は皆様のご友人にも気軽に声をかけていただき、一人でも多くの方が高野山へお参りできたらと存じます。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

今回のお言葉

今月号のお言葉は、先月号に引き続き『高祖弘法大師第三番』の御詠歌になってお歌です。

阿字とは梵字の『唵』のことで、大宇宙の根本である大日如来を表しております。阿字の子とは即ち大宇宙に存在している万物のことであり、私達も当然、阿字の子であります。そして私達が亡くなれば、御導師様によって、お大師様より伝わっております真言最極の尊い秘法を授かり、阿字の古里、即ち迷いや苦しみのない大宇宙の根本に立ち帰るといふことです。

私達の肉体はいずれ無くなってしまうが、その魂は不変であり、残された方の心の中に記憶として、また想いとして残ります。どこか遠い所へ消えてしまう訳ではなく、身近にいるというのは、そういうことなのだと思います。

年間行事

- 一月 厄除け祈願大祭
- 三月 春季彼岸会・涅槃会
- 四月 研修旅行
- (阿字の子会主催)
- 五月 春季例祭・大般若会
- 七月 高野山参拝旅行
- 八月 夏季例祭・大施餓鬼会
- 九月 秋季彼岸会
- 十二月 二年参り

お知らせ

- ・墓地分譲中
- ・傳燈館予約受付中
- ※ホームページまたはお電話にて申し込みいただけます。

☎：〇二六三三七七二四二五

ホームページ

下のQRコードよりサイトに移動できます。※周りの方に広めて頂けたら幸いです。

